

大仙市アーカイブズ ニュースレター 第5号



大仙市マスコットキャラクター
まるひちゃん

閲覧申請のススメ ～アーカイブズの利用方法～

アーカイブズ（公文書館）は、図書館・博物館と並んで「知のインフラの三本柱」と呼ばれています。日本でもアーカイブズが普及しつつありますが、まだ利用したことが無い方も多いと思います。

今回は、「旧大曲市の
大町地区の図面を確認したい」を例に、アーカイブズの利用方法をお知らせします。

博物館



資料（主に物資料）の原本を保存。職員が選んだ資料を展示し、来館者に見てもらう。

図書館



資料の情報を編集した書籍などを保存。来館者が見たい書籍などを選び、手に取って閲覧する。

アーカイブズ



資料（主に文字資料）の原本を保存。来館者が見たい資料を選び、申請し、手に取って閲覧する。

知のインフラ 三本柱

① 目録検索・申請



まず閲覧室内のパソコンで資料目録を検索しましょう。

「大曲大町」でキーワード検索すると、昭和37年と、大曲町時代（明治24年～昭和29年）の図面がありました。

資料名等を閲覧申請書に記入して職員に渡してください。



② (職員による)利用審査

個人情報が含まれているものは、職員が、内容や時間の経過等を考慮して「公開」「非公開」を判断します。

「一部公開」の場合はマスキング処理等のため、閲覧は後日となる場合もあります。

③ 閲覧



原本またはデジタル画像の閲覧になります。

資料の貸し出しやコピー機での複写はできませんが、デジカメ等で撮影することができます。



自治体史や行政刊行物など、自由に閲覧できる参考図書もあります。



資料目録はホームページでも公開しています。自宅で見たい資料を決めてから来館することもできます。

・調べたい内容を職員にお伝えください。資料を探すお手伝いをさせていただきます。

・パソコンが苦手な方も職員にお声がけください。



大仙市アーカイブズの閲覧室

地域のあれこれ ぎゅっと凝縮 ～自治体史と資料集～

「江戸時代の雄物川が描かれた絵図を探している」「生涯学習に関する資料は?」「先祖について手がかりは?」など、アーカイブズに来館される目的は様々。そんな多種多様なニーズに広く対応するのが自治体史(例:『秋田市史』・『南外村史』等)です。

自治体史は、5年から10年といった長い年月をかけて編さんされます。その間、市役所や旧家に残された資料を総点検しながら、年代や内容ごとに体系的に整理されていきます。

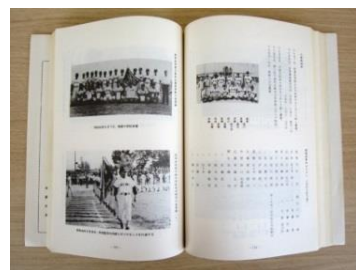
大仙市アーカイブズでは来館者の様々な調査の参考となるよう、県内外の自治体史や資料集も配架しています。何か調べたいことがあるときは、まず自治体史や資料集を探ってはいかがでしょうか?



秋田県旧69市町村のうち、61市町村の自治体史等を閲覧室に配架。(現在も収集中)

『大曲町郷土史』

昭和9年刊行。
当時の地域観を知る上でも重要。



『郷土史かみおか 資料集第三集』

野球史とも呼べる資料集。少年野球発祥の地ならではの。



『大仙市太田 近世・近代絵図集』

役所が保有する公図が中心。かつての土地状況を伝える資料。

大切な資料を守るために ～生物調査～

右の写真を見てください。なぜ大切な資料がボロボロになってしまったのでしょうか? 犯人はネズミや虫たちです。

紙資料はネズミの巣作りにピッタリ、虫たちの大好物・・・、こうなってしまうとは、大切な資料を未来につなぐことができません。

大仙市アーカイブズでは、生物による被害を防ぐために、生物トラップを館内30箇所に設置し、1ヶ月ごとに分析しています。特定のトラップに急に虫が増えたら、何か原因があるはず。近くに老朽化による隙間ができていたりします。

大仙市アーカイブズは、旧校舎を改修して建設されました。近年、旧校舎を活用した公文書館の設置が増加しつつあり、大仙市アーカイブズの調査結果は、今後設置される公文書館の参考にもなるはず。です。



保存状態が悪いと・・・



生物トラップ
侵入した虫の種類や、侵入経路の調査をしています。

